



▲「お見合い大作戦」を提案したグループ

「まず、自己紹介をしましよ
う」。川高生の司会者役から声
掛かり、最初はぎこちない雰
気が始まった分散会。特に中
生は緊張した面持ちでしたが、
次第に打ち解け、活発な意見
が出されました。「あいさつを
する」「ルールを守る」「自ら積極
に行動する」など、自分たちが
できることはなんだろうと考
え、前向きで積極的な意見が
多く出されました。中でも、「
テレビで放送されている『お見
合い大作戦』を川根地区で実
施する」と提

地域のためにできることを探す

Chapter No.2

川根の郷の夢を語る会

川根地区連携型中高一貫教育事業



県立川根高等学校

×



町立本川根中学校

×



町立中川根中学校

×



島田市立川根中学校

interview

「川根を愛する心を育む」

今までは発表会スタイルで話を聞くだけでしたが、今回からテーマを設け中高生の活発な議論を引き出すことで、交流を図ろうと企画しました。

出された意見を自分事として捉え、川根を愛し、実践できる生徒に育てたいと思います。

今後はこの場に地域の大人も参加して活発な議論がなされ、まちづくりに発展していくことを期待しています。



川根地区連携型中高一貫教育連絡協議会
堀田英正会長（県立川根高等学校校長）

川根地区連携型中高一貫教育連絡協議会は2月13日、川根高校セミナーハウスで川根地区の中高生交流を目的に「川根の郷の夢を語る会」を初開催した。「川根地域をより良くするにはどうしたら良いか」。最初はかなりざつくりとしたテーマだと印象を受けたが、自分たちが住む地域の話題と身近に捉え、真剣に未来を考える中高生を見てとても頼もしく思えた。12グループに分かれ実施した分散会では「お見合い大作戦を実施して少子化や過疎に歯止めをかける」など前向きで積極的な意見が出された。4校から140人の生徒が参加、規範意識を高める標語の優秀者表彰と進路が決定した川高生の講演も行われた。



▲堀田協議会会長から表彰を受ける石原詩歩美さん



▲川高生が司会と書記を務め、活発な意見が出された

茨城大学に進学する伊藤佳史さんと丁A大井川に就職する山田智大さんから進路達成までの道のりを紹介する講演も行われ、2人は勉強はもちろんのこゝろと生活や規律の重要性も説き、自身の経験に基づき進路についてアドバイスをを行いました。

進路達成の2人が講演

規範意識を高める標語の優秀者表彰も行われました。優秀標語と受賞者は次のとおりです。
 ▼「思いやる 心と心が 生きる町」(川根高校Ⅱ石原詩歩美)、
 ▼「夢・愛・笑顔」優しい気持ちをつなぐ町」(本川根中学校Ⅱ石川想大)、▼「ゴミ拾う 拾った数だけ まちづくり」(中川根中学校Ⅱ中村龍之介)、▼「挨拶は心をつなぐ 川根の自慢」(川根中学校Ⅱ小玉玲菜)

「優秀標語」考案の4人に表彰

案するグループもありました。話を聞くと、中高生ながらに現在の川根地区に危機感を抱き、解決していくためにはまずは人口を増やすべきという意見が返ってきました。他にも地域の課題を自分事として捉え、解決するためのアイデアがたくさん出されました。

Chapter No.3



▲特別メニュー「鬼面ランチ」

鬼は〜そと〜 福は〜うちっ!



2月3日、三ツ星保育園児は節分の由来を紹介する手作り劇を鑑賞し、鬼を追い払う豆まきを行いました。特別に「鬼面ランチ」も振る舞われ、節分を楽しみました。



▲鬼の登場に笑顔を見せる園児たち



▲節分の由来を分かりやすく紹介



▲みんな真剣なまなざしで楽しむ